

# 仁和寺周辺エリア

～御室八十八か所霊場・大内山・  
福王子神社・双ヶ岡・きぬかけの道～

	視点場（境内）		特に着目する通り
	視点場（参道等）		（白線） エリアの主な通り
	特に着目する地域		

## エリア概要

- 御室・花園地域は、衣笠山などの山々を経て愛宕山へと山並みが続き、その山ろくには龍安寺、仁和寺、妙心寺などの社寺や史跡・景勝地が多く存している。この地は、近代に入って、鉄道敷設や太秦一帯における映画産業の勃興などとかかわって、住宅地化が進むこととなった。
- 鷹峰、衣笠、金閣寺及び等持院の一帯の山地部分、御室・花園地域の衣笠山から西山に連なる山地部は、歴史的風土特別保存地区の指定により、山林がきれいにまとまって保存されており、また、原谷盆地の周囲の樹林、沢ノ池を中

心とする沢山の森林も、林業による植林などにより、きれいにまとまって保全されている。

- 社寺の境内地にも緑が多く、妙心寺境内は西側の双ヶ岡の展望台から眼下に見え、北側の仁和寺一帯と共に緑濃い一面を形成している。市街地内に存する双ヶ岡、法金剛院周辺についても本地域の景観を形づくる一団の緑地となっている。

## 仁和寺（世界遺産）

大内山と号し、真言宗御室派の総本山。世界文化遺産に登録されている。



仁和寺二王門

仁和寺は、敷地全体が緑に包まれているほか、やや高い位置にある。



神殿からの眺め

## 御室八十八か所霊場

八十八か所といえば、弘法大師が訪れたゆかりの地を巡拝することで、平安末期・鎌倉初期にすでに始められたという伝説があり、室町時代には今日見るような巡拝が定着していたそうだ。しかし、四国の「本四国霊場」への巡拝は容易ではないため、仁和寺の第二十九世門跡済仁法親王は、文政10年(1827)に、同じような功德が得られるよう、仁和寺の裏山にミニ霊場を創設したという。<sup>1)</sup>



## 仁和寺門前

仁和寺門前は、仁和寺の復興及び繁栄が大いに関係している。<sup>5)</sup>

また、江戸期の門前には仁和寺を守護するための、いわゆる寺侍と呼ばれる人々の屋敷が軒を連ねていた。<sup>6)</sup>

緑豊かな和風邸宅が連なる趣のある景観を醸し出し、二王門の門前においては、正面参道と一体をなす門前景観として眺められ、全体として和風感ある景観形成が図られている。



門前の通り

## 成就山

延喜4年(904)宇多野法皇が南麓の仁和寺境内に御室御所を営んだことに由来。<sup>2)</sup> 仁和寺の背後に一体的な景観を形成している。



## 福王子神社

福王子神社は、仁和寺の守護神であり、国の重要文化財に指定されている神社である。また、地元の御室、福王子、鳴滝などの産土神としても崇拝されている。<sup>3)</sup>



## 双ヶ岡

国の指定名勝。吉田兼好が西麓に住んだと伝えられる。<sup>4)</sup> 仁和寺二王門前から南を望むと、双ヶ岡の緑と調和した町並み景観が見られる。



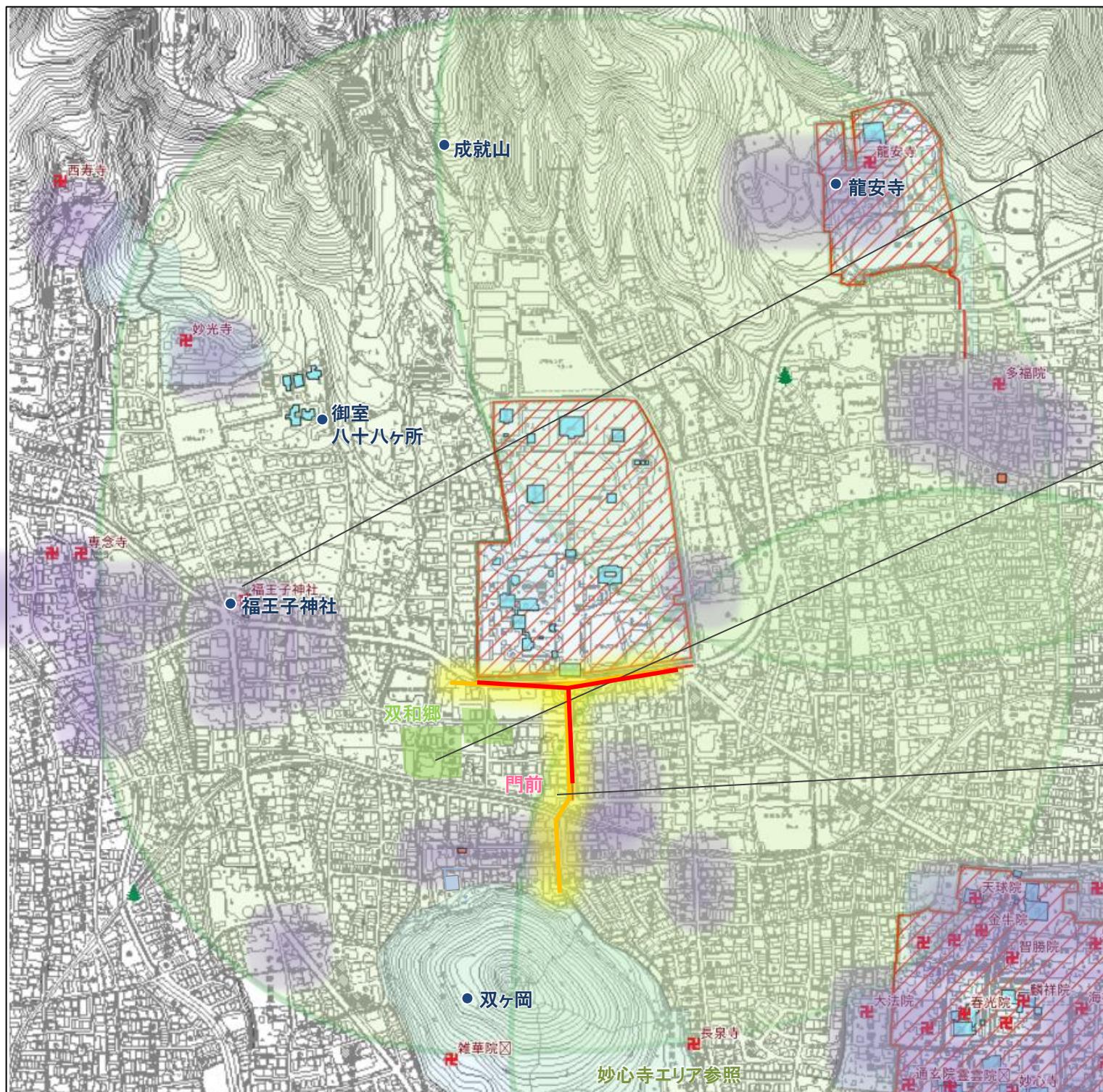
門前の通りから双ヶ岡方面

## きぬかけの道

金閣寺・龍安寺・仁和寺等、寺社をつなぐ道となっており、山林・生垣・和風塀が並んでおり、緑豊かな落ち着いたたたずまいが見られる。



# エリアの概要



※ 詳しい地図情報は、京都市景観情報共有システムをご参照ください。

## 福王子神社周辺

福王子村の村高は、仁和寺領が多くを占めていたため、中世以降仁和寺の強い支配下にあったことがうかがえる。<sup>7)</sup>  
 中心である福王子神社は、御室仁和寺の守護神であり、国の重要文化財に指定されている珍しい神社である。また、仁和寺の鎮守神であるとともに、地元の御室、福王子、鳴滝などの氏神としても崇拝されている<sup>8)</sup>

## 双和郷

昭和10年(1935年)から昭和18年(1943年)の間で仁和寺周辺地域における映画産業の立地があり、それら映画産業の関係者は多く門前地域に居住し、彼らが主に居住したのが「双和郷」と称された郊外住宅地であった。「双和郷」は、昭和2年(1927年)頃に開発された嵐山電鉄北野線御室駅北側の一帯である。<sup>9)</sup> その名残か、現在は、宅地割の大きな建物が見られる。



## 仁和寺門前

御室門前は、仁和寺の復興及び繁栄が大いに関係している。<sup>10)</sup>  
 また、江戸期の門前には仁和寺を守護するための、いわゆる寺侍と呼ばれる人々の屋敷が軒を連ねていた。<sup>11)</sup>



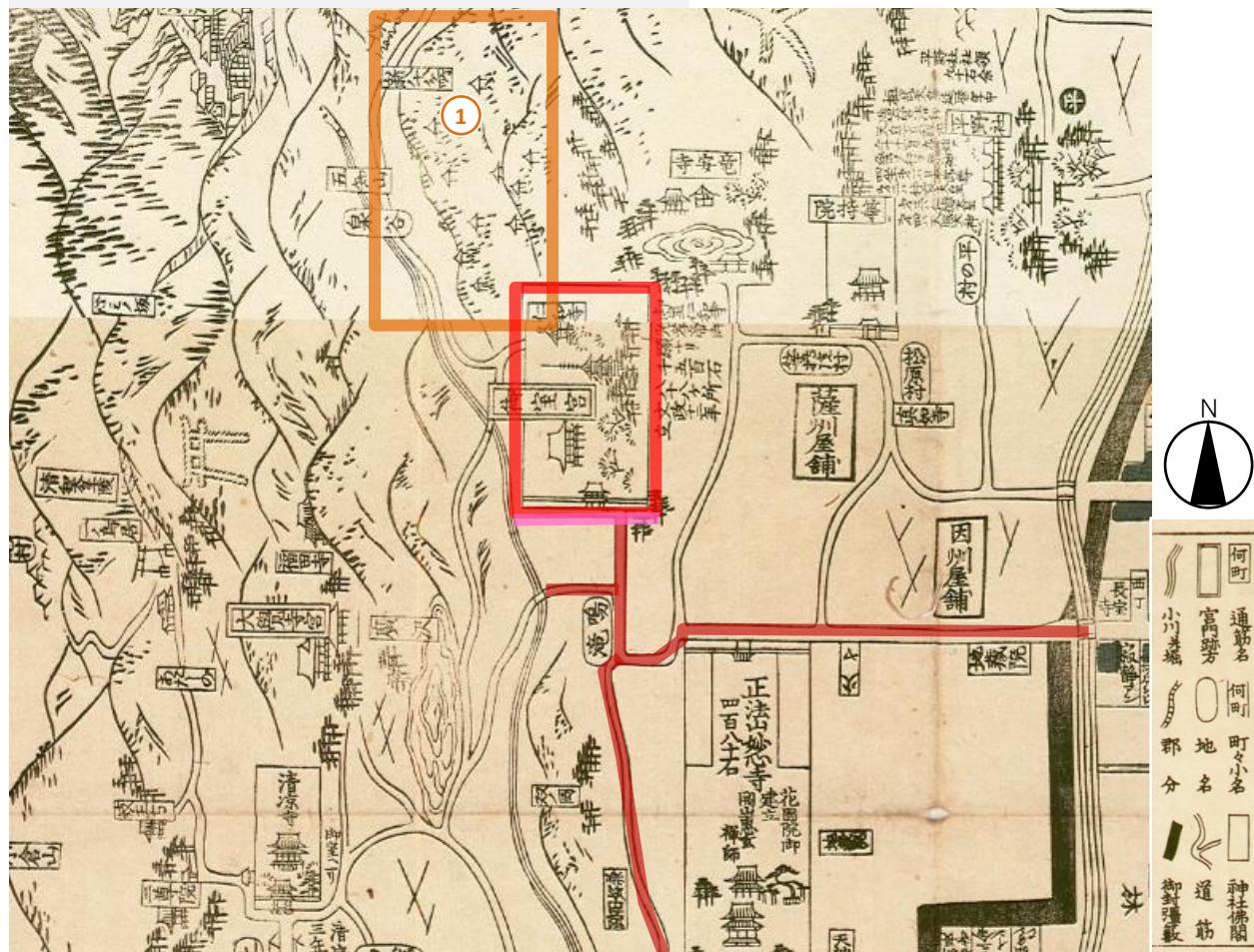
### 【凡例】

- |                  |                                  |             |
|------------------|----------------------------------|-------------|
| 視点場(境内)          | 建造物・庭園<br>景観重要建造物・<br>歴史的風致形成建造物 | 樹木<br>天然記念物 |
| 視点場(参道等)         | 歴史的意匠建造物                         | 保存樹・区民の誇りの木 |
| 近景デザイン保全区域       | 界わり景観建造物                         |             |
| 特に着目する通り         | 京を彩る建物や庭園                        |             |
| 明治25年以前から存在する市街地 | 文化財(建築物)                         |             |
| 界わり景観整備地区        | 文化財(史跡・名称)                       |             |
|                  | 国土地理院社寺データ等 ※                    |             |

※ 国土地理院の数値地図2、500に掲載の社寺データと、平成15・16年発行のゼンリン住宅地図の1、000m<sup>2</sup>以上の社寺データ

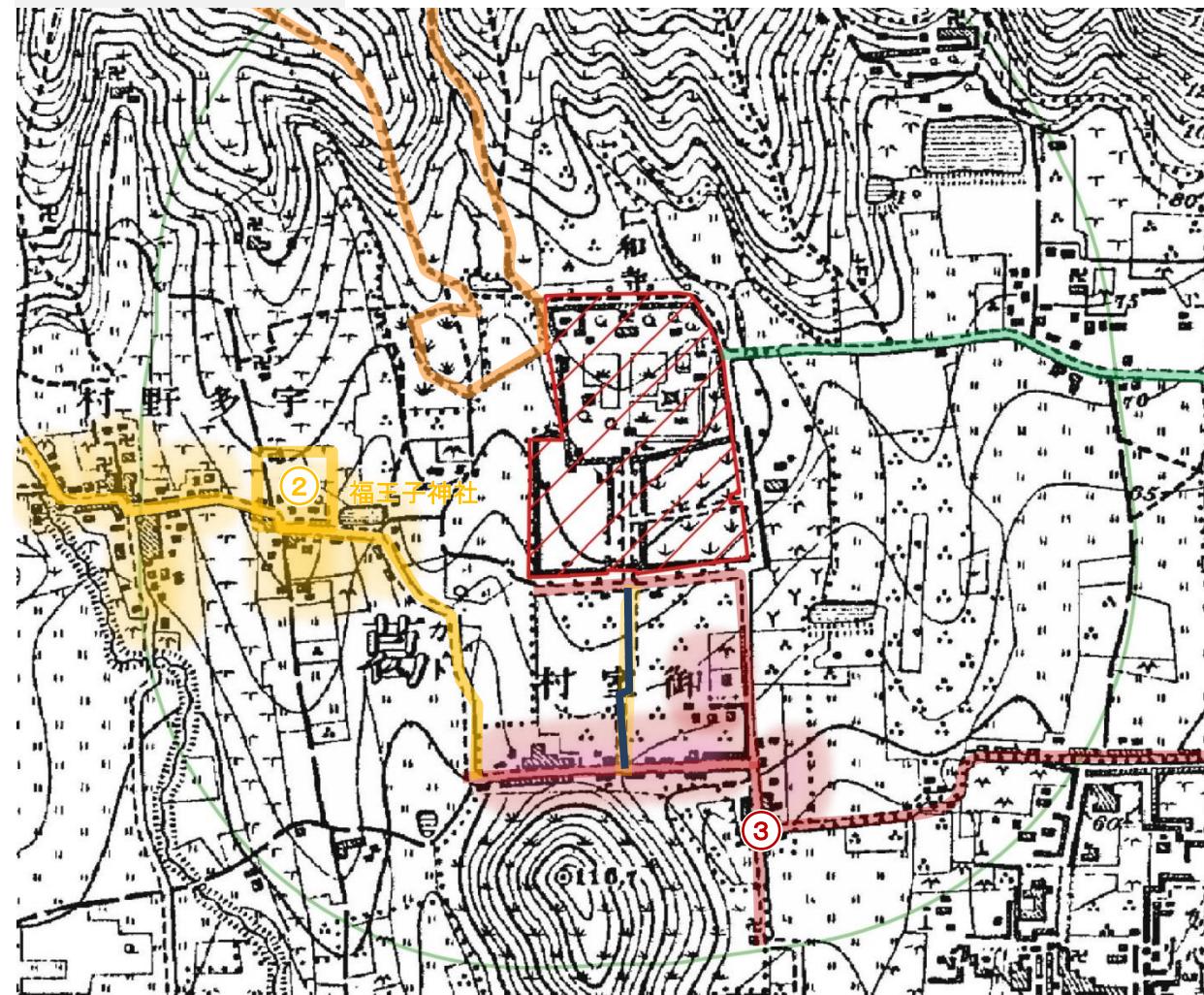
# エリアの土地利用の変遷 (1)

明治2年(1869年)(上地政策による境内地減少前)



京町御絵図(明治2年)

明治25年(1892年)



- 近景デザイン保全区域
- 視点場(境内)
- 特に着目する通り

資料: 仮製地形図(明治中期)(国土地理院所蔵)  
画像: 立命館大学アート・リサーチセンター

## ①御室八十八か所霊場

八十八か所といえ、弘法大師が訪れられたゆかり地を巡拝することで、平安末期・鎌倉初期にすでに始められたという伝説があり、室町時代には今日見るような巡拝が定着していたそう。しかし、四国の「本四国霊場」への巡拝は容易ではないため、仁和寺の第二十九世門跡済仁法親王は、文政10年(1827)に、同じような功德が得られるよう、仁和寺の裏山にミニ霊場を創設したという。この霊場は、きわめて早い時期に創設されたものとして知られている。しかし、1829年に、完成したばかりの霊場を天保元年に京都大地震が襲い、ほとんどが倒壊してしまったという。1832年によりやく再建され、今に至るといふ。<sup>12)</sup>

## ○仁清焼の窯跡

近世初頭には、野々村仁清により御室焼が始められた。<sup>14)</sup>

## ②福王子神社周辺

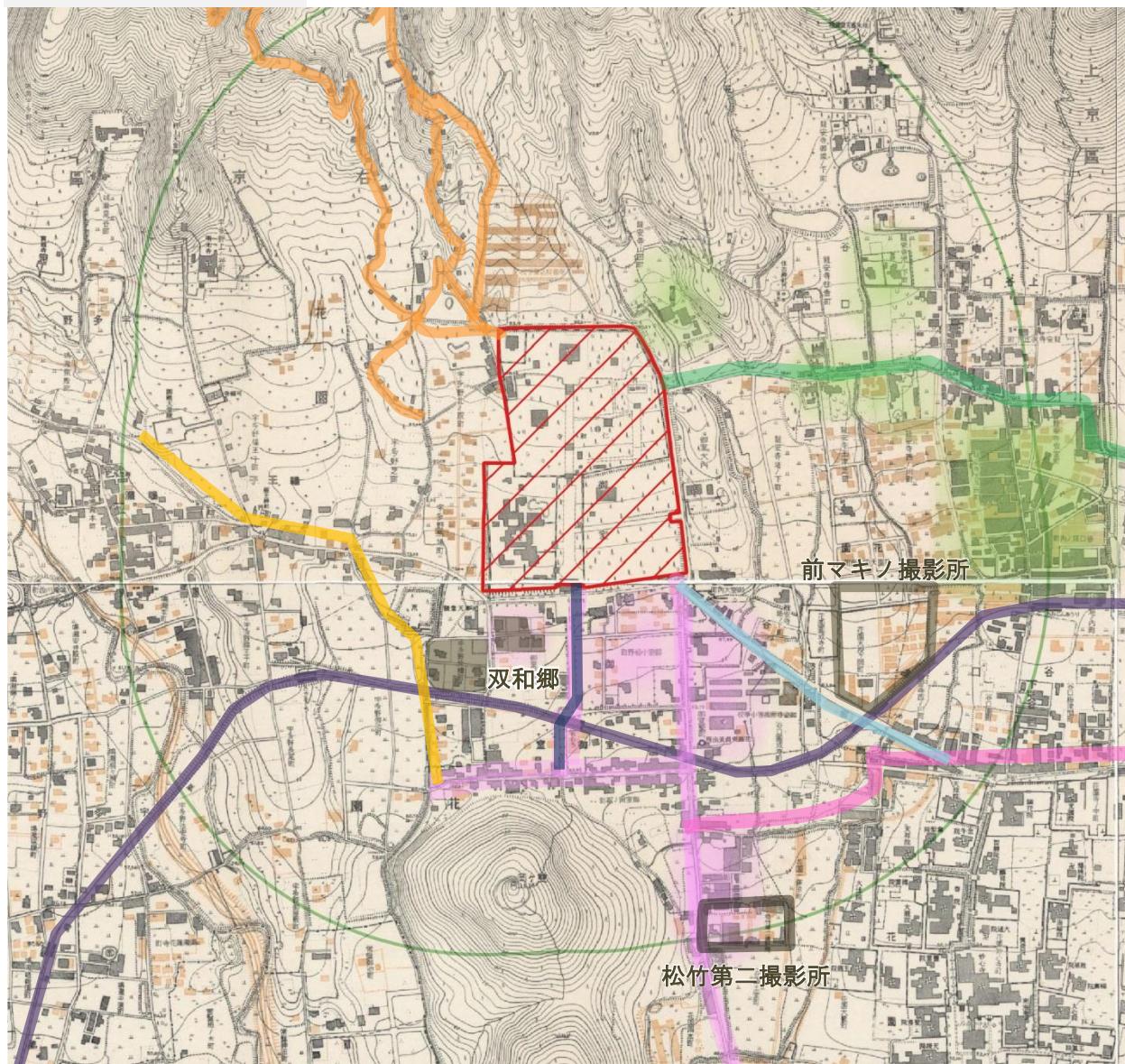
福王子村は、中世以降仁和寺の強い支配下にあったと考えられている。<sup>15)</sup> 中心である福王子神社は、仁和寺の守護神であり、国の重要文化財に指定されている神社である。歴代の仁和寺法親王の崇敬はあつく、深いつながりは現在まで続き、毎年秋に奉幣を受ける儀式が行われているという。また、仁和寺の鎮守神であるとともに、地元の御室、福王子、鳴滝などの産土神としても崇拝されている。<sup>16)</sup>

## ③仁和寺門前

御室門前の宅地形成には、仁和寺の復興及び繁栄が大いに関係している。1753年、門前の軒数は15軒を数えたといひ、近郊農村として発展した。<sup>17)</sup> また、幕末の門前には仁和寺を守護するための、いわゆる寺侍と呼ばれる人々の屋敷が軒を連ねていた。現在、その面影はほぼないが、寺侍であった香山家や久保田家はこの地に残されているという。<sup>18)</sup> また、御室門前村の存在は近世の郷帳類に記載はなく、仁和寺の一部であったと考えられている。<sup>19)</sup>  
仁和寺門前の南北の通りが描かれるようになり、仁和寺の北東から龍安寺前を通り洛中へ向う道が描かれる。

## エリアの土地利用の変遷 (2)

昭和28年(1953年)



資料:京都市都市計画基本図(昭和28年)  
 (京都市都市計画局(京都市指令都企計第90号))  
 画像:立命館大学アート・リサーチセンター

大正15年に現京福電気鉄道北野線が開通し、市街化は急速に進んだ。<sup>20)</sup>

## ④双和郷

マキノ撮影所は1926(大正15)年に開所、1935(昭和10)年に閉鎖、松竹第二撮影所は、1935(昭和10)年から1943(昭和18)年の間で仁和寺周辺地域における映画産業の立地があった。それら映画産業の関係者は多く門前地域に居住し、彼らが主に居住したのが「双和郷」と称された郊外住宅地であった。「双和郷」は、1927(昭和2)年頃に開発された嵐山電鉄北野線御室駅北側の一帯である。<sup>21)</sup>

※ この地図は、京都市発行の都市計画基本図(縮尺1/3,000)を参考にし、作成したものです。

# 仁和寺境内の歴史的資産と守っていききたい眺め(1)

## 仁和寺

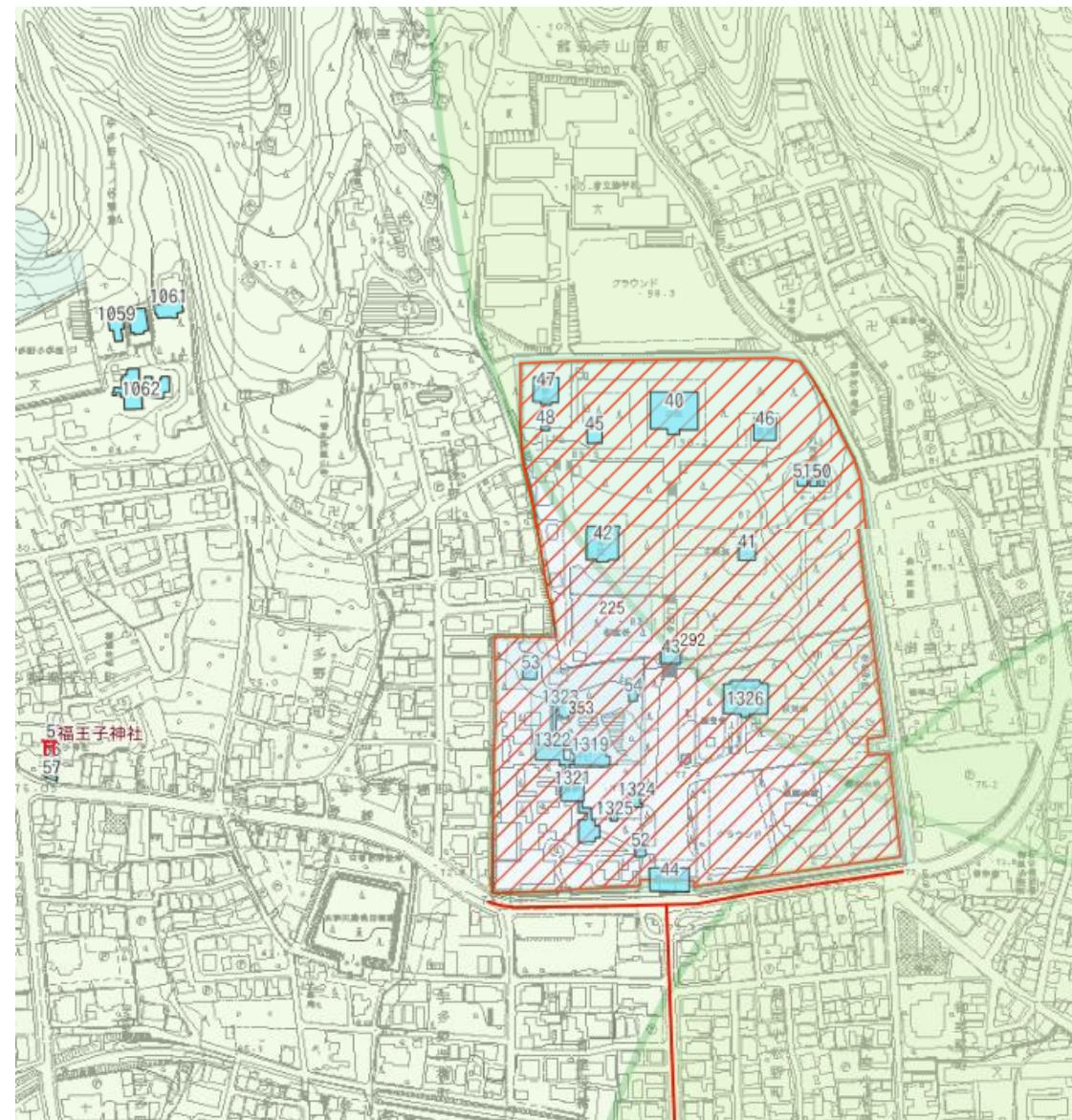
仁和寺は、仁和4年（888）に宇多天皇により完成した勅願寺で、また皇子・皇孫が門跡を務めたことから門跡寺院の筆頭とされて、「御室御所」とも称されている。

応仁・文明の乱（1467～77）により全伽藍を焼失しているが、寛永18～正保元年（1641～44）に再興され、このとき当時御所にあった紫宸殿と常御殿が移築されて、それぞれ金堂と仁和寺御殿（明治20年焼失）に転用されている。また清涼殿の古材を用いて御影堂が造営されたほか、二王門・中門・五重塔などが建てられ、境内の整備が次々と進められた。現在みられる伽藍は、主としてこのときのものである。

国宝の金堂は屋根が檜皮葺から本瓦葺へ改められているものの、正面7間、側面5間の四方に葺戸をめぐらした大規模な建物で、桃山時代の宮殿建築を伝える貴重な建物である。この他、御影堂など計12棟が重要文化財に指定されている。<sup>22)</sup>

### 文化財

国宝	金堂	40				
国指定重要文化財	五重塔	41	観音堂	42	中門	43
	二王門	44	鐘楼	45	経蔵	46
	御影堂	47	御影堂中門	48	九所明神本殿 (中殿、右殿、左殿)	49 50 51
	本坊表門	52	遼廓亭	53	飛濤亭	54
国指定史跡	御所跡	292				
国指定名勝	御室（サクラ）	225	庭園	353		
国登録文化財	宸殿	1319	大玄関	1320	白書院	1321
	黒書院	1322	靈明殿	1323	勅使門	1324
	皇族門	1325	靈宝館	1326		



※ 詳しい地図情報は、京都市景観情報共有システムをご参照ください。

**【凡例】**

<ul style="list-style-type: none"> <li><span style="display: inline-block; width: 15px; height: 10px; border: 1px solid red; background: repeating-linear-gradient(45deg, transparent, transparent 2px, red 2px, red 4px);"></span> 視点場（境内）</li> <li><span style="display: inline-block; width: 15px; height: 10px; border: 1px solid red;"></span> 視点場（参道等）</li> <li><span style="display: inline-block; width: 15px; height: 10px; border: 1px solid green;"></span> 近景デザイン保全区域</li> </ul>	<p><b>建造物・庭園</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: blue; border: 1px solid blue;"></span> 景観重要建造物・歴史的風致形成建造物</li> <li><span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: yellow; border: 1px solid yellow;"></span> 歴史的意匠建造物</li> <li><span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; border: 1px solid green; border-radius: 50%;"></span> 界わい景観建造物</li> <li><span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: orange; border: 1px solid orange;"></span> 京を彩る建物や庭園</li> <li><span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: lightblue; border: 1px solid lightblue;"></span> 文化財（建築物）</li> <li><span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: lightblue; border: 1px solid lightblue;"></span> 文化財（史跡・名称）</li> <li><span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: red; border: 1px solid red;"></span> 国土地理院社寺データ等 ※</li> </ul>	<p><b>樹木</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: red; border: 1px solid red;"></span> 天然記念物</li> <li><span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: green; border: 1px solid green;"></span> 保存樹・区民の誇りの木</li> </ul>
--	--	---

※ 国土地理院の数値地図2、500に掲載の社寺データと、平成15・16年発行のゼンリン住宅地図の1、000m2以上の社寺データ

# 仁和寺境内の歴史的資産と守っていききたい眺め(2)

## [国宝]



金堂※

## [国指定重要文化財]



五重塔※



観音堂※



中門※



二王門※

## [国登録文化財]



宸殿※



大玄関※



白書院※



黒書院※



霊明殿※



勅使門※



皇族門※



霊宝館※



鐘楼※



経蔵※



御影堂※



御影堂中門※



九所明神本殿  
(中殿、右殿、左殿)※



本坊表門※



遼廓亭※



飛濤亭※

## [国指定史跡]



御所跡※

## [国指定名勝]



御室(サクラ)※



庭園

※：(画像) 京都府地図情報統合型地理情報システム (GIS)



## 仁和寺周辺の歴史的資産(2)

## ■ 天球院

[重要文化財(本堂)]

本堂※  
重文

右京区花園妙心寺町にある臨済宗妙心寺の塔頭。北門を入った西側に位置。寛永八年(1631)池田光政・忠継が伯母天球院のために創建。開創は江山景巴。同12年建立の本堂(重要文化財)は桁行七間、梁間六間の比較的大型の方丈形式の建物で、一重、入母屋造、棧瓦葺。附属する折れ曲がりの玄関の細部彫刻は注目される。内部は大名寺院らしく金箔障壁画をはじめ豪華な意匠を施す。<sup>26)</sup>

## ■ 伝心庵

[京都を彩る建物や庭園]



■ 438

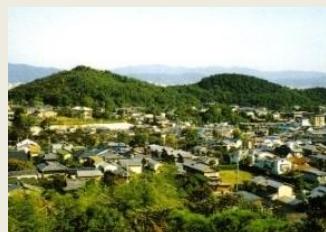
明治に建てられた私邸で庭園を持つ。仁和寺の近くに建ち、現在は旅館として活用されている。

## ■ 仁清窯跡

野々村仁清は、京都粟田口に出て陶法を修業し、のち瀬戸に赴き茶器制作を修得。生保年間(1644-48)仁和寺門前に御室窯を開き、茶匠金森宗和の指導で宗和好みの茶陶を焼造。<sup>27)</sup>

## ■ 双ヶ岡

[国指定名勝]



国指定 ※

吉田兼好が二の丘西麓に住んだと伝え、一の丘東麓の長泉寺に歌碑と墓がある。<sup>29)</sup>

## ■ 旧邸御室

[国登録有形文化財(主屋・土蔵・茶室双庵・待合・門及び塀)、京都を彩る建物や庭園]



国登録 ※

■ 342

木造二階建、棧瓦葺で、一階は北東隅に玄関を開き、矩折れの廊下を南北に通してその西に一二畳半の座敷と一〇畳を設ける。廊下の東側は内向きの空間とする。二階には八畳三室を設ける。意匠を凝らした座敷廻りなど、内外ともに質の高い近代和風住宅である。<sup>30)</sup>

# 仁和寺周辺のその他の歴史的資産、地域景観づくり協議会

## ■ 景観上重要な建築物、庭園等

### 榎木家(本家)

[京都を彩る建物や庭園]

#### 【推薦理由】

榎木家の本家。明治の建築。梁や大黒柱が太く、部屋の空間がダイナミック。ベンガラ塗りの格子が印象深い。茶室、庭、蔵など雰囲気がある。



■ 113

## ■ 文化財

[国登録有形文化財]



陽明文庫第一文庫※  
国登録



陽明文庫第二文庫※  
国登録



本陽明文庫事務所※  
国登録



陽明文庫虎山荘※  
国登録

## ■ 樹木

ヒノキ：住吉大伴神社  
右京C02

[区民の誇りの木]

ヒノキは社殿の背後にそびえる、20mにおよぶ大木となっています。神社は平安時代末に和歌の神として復興し、現在に至ります。ヒノキの雄大な姿は神社の朱塗りの建物とよく調和し、歴史を感じさせてくれます。



スギ：住吉大伴神社  
右京C03

[区民の誇りの木]

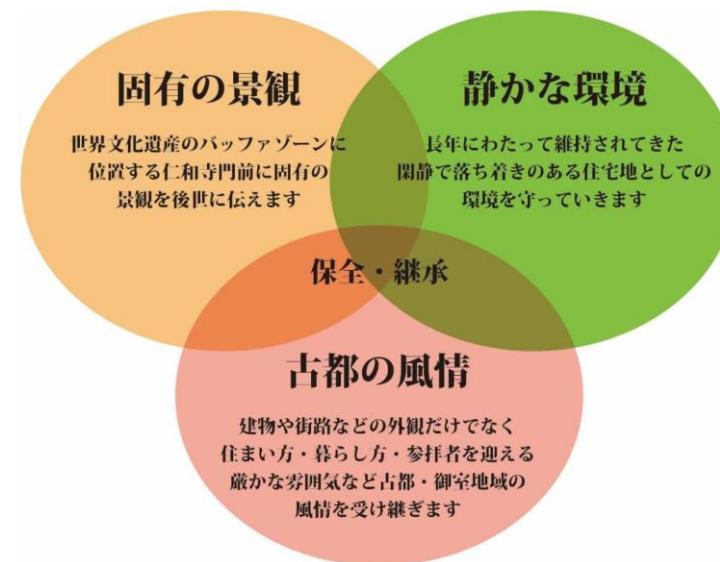
境内のほぼ中央にシンボルのように植えられた大木でよく目立ちます。



## ■ 仁和寺門前まちづくり協議会(地域景観づくり協議会)について

仁和寺門前まちづくり協議会は、地域に固有の景観、静かな環境、古都の風情を保全・継承していくため、地域で創設された組織であり、「地域景観づくり協議会制度」の認定を受けています。

### 1) まちづくりの基本目標



### 2) 協議区域

仁和寺門前まちづくり協議会として認定された、京都市右京区宇多野柴橋町・御室芝橋町・御室小松野町の3町の内、御室山門前町内会に属する区域(下図参照)。



※：(画像) 京都府地図情報統合型地理情報システム (GIS)

# 景観の特性と形成方針（京都市景観計画 抜粋・要約）

## 西山風致地区

### 【概況】

当地区は、鷹ヶ峰、衣笠地区、金閣寺及び平等院の一带、御室・花園地域、梅ヶ畑、太秦、蚕の社周辺から構成され、鷹ヶ峰、衣笠、金閣寺及び平等院の一带の山地部分、御室・花園地域の衣笠山から西山に連なる山地部は、山林がきれいにまとまって保存されており、原谷盆地の周囲の樹林、沢ノ池を中心とする沢山の森林も、林業による植林等により、きれいにまとまって保全されている。  
また、社寺の境内地にも緑が多く、妙心寺境内は西側の双ヶ岡の展望台から眼下に見え、北側の仁和寺一带とともに緑濃い一画を形成している。市街地内に存する双ヶ岡、法金剛院周辺についても本地域の景観を形造る一団の緑地となっている。

### 【良好な景観の形成に関する方針】

#### ●仁和寺門前の正面参道の和風感ある沿道景観

仁和寺門前地区は、緑豊かな和風邸宅が連なる趣のある景観を醸し出し、大門の門前においては、正面参道と一体をなす門前景観として眺められ、全体として和風感ある景観形成が図られている。このため、きぬかけの道沿いでは、高さ規制や建築物の和風デザイン等に配慮する。

#### ●双ヶ岡西側及び北側の地域等の風趣ある和風空間

双ヶ岡西側及び北側の地域では、敷地規模も大きく緑化の豊富な日本瓦ぶき・和風外観の和風住宅が立ち並ぶ。これらの住宅地域では、敷地規模の確保を図り、建築物は日本瓦ぶき和風外観とした風趣ある和風空間の維持を図る。



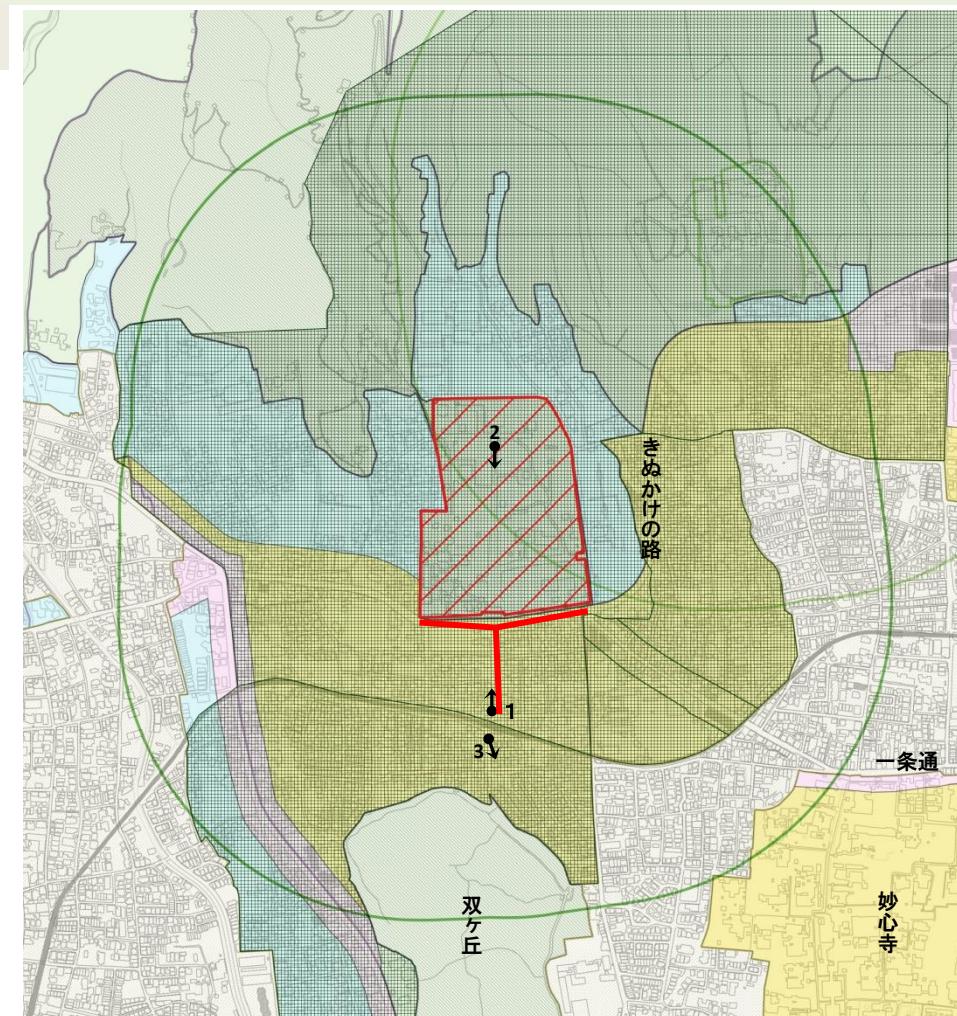
1) 仁和寺門前



2) 仁和寺前境内



3) 御室駅前



### 【凡例】

眺望景観保全区域	景観地区
視点場（境内）	山ろく型美観地区
視点場（参道等）	山並み背景型美観地区
近景デザイン保全区域	岸边型美観地区
風致地区	旧市街地型美観地区
風致地区第1種地域	歴史遺産型美観地区 一般地区
風致地区第2種地域	歴史遺産型美観地区 歴史的景観保全修景地区
風致地区第3種地域	歴史遺産型美観地区 界わい景観整備地区
風致地区第4種地域	重要界わい景観整備地域
風致地区第5種地域	沿道型美観地区
風致特別修景地区	市街地型美観形成地区
建造物修景地区	沿道型美観形成地区
山ろく型建造物修景地区	
山並み背景型建造物修景地区	
岸边型建造物修景地区	
町並み型建造物修景地区	
その他	
伝統的建造物群保存地区	
歴史的風土保存地区	
歴史的風土特別保存区域	

※ 詳しくは、京都市景観情報共有システムを御確認ください。

## (資料)

- 1) 御室小学校学区創立百十周年記念誌編集部. 御室. 御室福祉連合会. 1989. p.41
- 2) 佐和 隆研 ほか編集. 京都大事典. 淡交社. 1984. p.118
- 3) 御室小学校学区創立百十周年記念誌編集部. 御室. 御室福祉連合会. 1989. p.43
- 4) 佐和 隆研 ほか編集. 京都大事典. 淡交社. 1984. p.697
- 5) 京都市. 史料 京都の歴史. 第14巻 右京区. 平凡社. 1994. p.262
- 6) 御室小学校学区創立百十周年記念誌編集部. 御室. 御室福祉連合会. 1989. p.40
- 7) 同上、 p.304
- 8) 同上、 p.43
- 9) 河角直美・板谷直子・佐藤弘隆・谷崎有紀・前田一馬・中谷友樹・矢野桂司. 記憶地図から読む地域の景観の歴史：仁和寺門前地域を例に. ランドスケープ研究. 日本造園学会. 2017.
- 10) 京都市. 史料 京都の歴史. 第14巻 右京区. 平凡社. 1994. p.262
- 11) 御室小学校学区創立百十周年記念誌編集部. 御室. 御室福祉連合会. 1989. p.40
- 12) 同上、 p.41
- 13) 佐和 隆研 ほか編集. 京都大事典. 淡交社. 1984. p.118
- 14) 河角直美・板谷直子・佐藤弘隆・谷崎有紀・前田一馬・中谷友樹・矢野桂司. 記憶地図から読む地域の景観の歴史：仁和寺門前地域を例に. ランドスケープ研究. 日本造園学会. 2017. p.
- 15) 御室小学校学区創立百十周年記念誌編集部. 御室. 御室福祉連合会. 1989. p.304
- 16) 同上、 p.43
- 17) 京都市. 史料 京都の歴史. 第14巻 右京区. 平凡社. 1994. p.262
- 18) 御室小学校学区創立百十周年記念誌編集部. 御室. 御室福祉連合会. 1989. p.40
- 19) 京都市. 史料 京都の歴史. 第14巻 右京区. 平凡社. 1994. p.260
- 20) 同上、 p.262
- 21) 河角直美・板谷直子・佐藤弘隆・谷崎有紀・前田一馬・中谷友樹・矢野桂司. 記憶地図から読む地域の景観の歴史：仁和寺門前地域を例に. ランドスケープ研究. 日本造園学会. 2017. p.
- 22) 第22回世界遺産委員会支援京都実行委員会. 千年の都 世界遺産. 古都京都の文化財(京都市・宇治市・大津市). 第22回世界遺産委員会支援京都実行委員会. 1998. p.144
- 23) 平凡社. 寺院神社大事典. 1 京都・山城. 平凡社. 1997. p.672
- 24) 同上、 p.585
- 25) 同上、 p.724
- 26) 佐和 隆研 ほか編集. 京都大事典. 淡交社. 1984. p.641
- 27) 同上、 p.734
- 28) 同上、 p.118
- 29) 同上、 p.697
- 30) 文化財オンライン： <http://bunka.nii.ac.jp/heritages/detail/285706>